

平成17年度中学校学習到達状況調査の結果のポイント

今回の調査における課題

【国語】

指示語の指し示す内容を理解すること
全体を見通して、書く必要のある事柄を整理すること
文脈に即して漢字を正しく書くこと



改善の方向

指示語や接続語に着目して段落相互の関係を把握するなどの基本的な技能の定着を図る。
相手、目的や意図などに応じて書く技能を育てるとともに日常生活において文章を書き慣れるようにする。
興味・関心を高めつつ反復的、継続的に指導し、日常生活で実際に使いこなせる力を育てる。

【社会】

社会的事象の意味や働きを考えること
基礎的知識や概念の理解とそれらを活用すること



調べ学習では、課題について調べたことをもとに、根拠をもって考えさせそれを述べ合う場をつくる。
地図帳の日常的な活用を促す。
単元の途中やまとめの段階で内容の振り返りや確認作業の時間を入れる。
中学校では、小学校での学習内容を生かして学習課題をつくるなどの学びのつながりを大切にする。

【算数】

小数の除法を用いる問題で演算を決定し立式すること
小数、分数の大小を比較すること
面積を求めた過程を説明すること
立体の頂点の位置関係を理解すること



計算技能だけでなく、計算の意味（演算決定）を理解させる指導を行う。
小数や分数を数直線上に表すことや等しい分数をつくる指導を行う。
数量や図形について考察したことを根拠をもって表現させる指導を行う。
立体を実際に作ったり展開したりするなど図形に直接働きかける活動を取り入れた指導を行う。

【理科】

視覚的にとらえにくい現象について、まとめたり考察したりすること
働きやきまりを、言葉で説明すること
規則性やきまりを、現象に当てはめて考えること



観察、実験によって得られた情報を整理し、話し合いなどを通して十分に考察する。
考察して分かったことや確かめられたことを、ノートなどに自分の言葉でまとめさせる。
複数の事象を取り上げたり日常生活との関連を図ったりして、実感をもった理解ができるように指導する。